

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	キッズタウンからふる	公表日				
チェック項目		はい	いいえ	工夫している点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		状況に応じて2部室利用している。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	十分に配置できている。児童が常時療育に入ることなどでなんとか対応できている状態は適切か。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	トイレが古く、年長児もオープンスペースなので改善してほしい。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	6	2	トイレは出来れば個室が良い。車の響き、クーラーの音によって、かなり過ごしにくい時がある。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1			
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	8		保護者の意見を職員で共有。		
	7 保護者向け評価表により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7				
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4	実施していない。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		定期的に研修会に参加したり、法人内でも研修が開催されている。法人での研修会や勉強会の機会あり。必要な外部研修を適宜受けさせてもらっている。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8				
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8				
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		専門職の視点を取り入れながら全員で支援計画を立てることができる。職員間で支援計画を検討、確認している。		
	14 児童発達支援計画が職員間に行われ、計画に沿った支援が行われているか。	8		それぞれの発達段階などに応じた段階付けやプログラムの変更方法を多職種で検討している。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		子どもの様子に合わせてながら、5領域に沿って活動プログラムを立案している。基本保育士で決めていることが多いが、具体的な内容を専門職と一緒に考えることができている。		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容が踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		それぞれの発達段階などに応じた段階付けやプログラムの変更方法を多職種で検討している。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		子どもの様子に合わせてながら、5領域に沿って活動プログラムを立案している。基本保育士で決めていることが多いが、具体的な内容を専門職と一緒に考えることができている。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		必要に応じて専門職による個別支援を取り入れている。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		毎朝、活動内容や個別対応、役割について確認している。		
	20 支援開始前には職員間で必ず行合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		毎朝、活動内容や個別対応、役割について確認している。		
	21 支援終了後には、職員間で必ず行合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8				
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8				
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8				
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	8		専門職と連携し、担当会議など参加して情報共有できている。		
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		担当会議参加、受診時の情報提供作成。		
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		適時連絡をとり状況を確認し共有している。		
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		サポートブックを作成し進学先への情報提供を行っている。(3)		
	28 (28～30は、センターのみ回答)					
	29 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			ST、OTから助言を受けている。		
	30 質の向上を図るため、積極的に専門職や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	31 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	32 (31は、事業所のみ回答)					
	33 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	4			
	34 併設での行事に参加させてもらい交流している。(2)地域の祭りやスーパーへの買い物など交流の機会を作っている。併設の子どもと小庭や園庭で遊んでいる。	7				
	35 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8				
	36 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		ペアトシはまだできていないが、保護者間での情報交換や交流できる機会をもっている。		
保護者への説明等	37 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8				
	38 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点に基づき、こどもや家族の意向を尊重する機会を設けているか。	8				
	39 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8				
	40 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、相談や必要な助言と支援を行っているか。	8		保護者からの相談にその都度時間を設け、専門的な視点を踏まえた助言・支援をしている。		
	41 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、まよくだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	1			
	42 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8				
	43 定期的に連絡等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8				
	44 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	1	書類が置けることがあるため、説明のほかに用紙の名前の確認を一掃に行えるように、用紙の名前を確認していく。		
	45 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		絵カード、写真カードなどの視覚支援を併用しながら、一人ひとりに合わせて工夫できている。		
	46 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	5	2	地域住民の招待はできていないが、地域の行事への参加はしている。		
	非常時等の対応	47 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1		
		48 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
		49 事前に、職業や予防接種、てんかん発作等こどもの状態を確認しているか。	8			
50 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		8				
51 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分な中で支援が行われているか。		8		チャプラーや経験者など対応について、全職員で対応方法について学べると良い。		
52 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		7				
53 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。		8				
54 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		7	1	非常勤職員を含め、周知・徹底していく。		
55 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8					